

2022年4月27日

令和4年度第1回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時:2022年4月27日(水) 10:30-12:00

形態:ZOOMによるオンライン審議

参加者(順不同、敬称略):

植村哲也(支部長), 佐藤勉(室蘭幹事, 会場幹事), 柳谷俊一(函館幹事), 山根啓作(庶務幹事), 山崎憲慈(庶務幹事), 小野円佳(会計幹事), 片山司(会計幹事), 篁耕司(人材育成幹事), 戸田泰則(支部評議員),  
以上9名

欠席者(順不同、敬称略):

森田隆二(会計監査), グェンタン ソン(釧路幹事), 本久順一(支部評議員), 中村基訓(旭川幹事), 酒井大輔(北見工大、日本光学会幹事), 小田久哉(千歳幹事), 木場 隆之(北見幹事)  
以上7名

事務局: 惣伊田ゆり

議事録作成者: 山崎憲慈(庶務幹事)

● 新旧の支部役員の引き継ぎ(資料1)

- 植村支部長、山根庶務幹事より令和4年度 応用物理学会北海道支部役員について説明があり承認された。

議題:

● 議題1第58回北海道支部学術講演会について(資料2-1, 2-2)

- 山根庶務幹事より第58回北海道支部学術講演会について説明があり承認された。
  - ◇ R5.1.7-8で開催予定
  - ◇ 現地開催の場合は室蘭工業大学が担当し、講演会用、役員会議用、アルバイト控え室用、ジュニアセッションコンテストポスター会場に使用する必要な部屋の手配が済んでいることが報告された。
  - ◇ 新型コロナウイルス感染状況の悪化により、オンライン開催になる場合には北大で行うことが説明された。
  - ◇ 現地開催もしくはオンライン開催の判断は8月までに行う(現地開催の場合は佐藤先生がご担当)。8月の判断の後でも随時北大でのオンライン開催に切り替えることは可能であることが説明された。

◇ 日本光学会との共催についてはすでに内諾済みであることが説明された。

● **議題 2 第 59 回北海道支部学術講演会について (資料なし)**

➤ 山根庶務幹事より第 59 回北海道支部学術講演会について説明があり承認された。

◇ 第 58 回もオンライン開催となった場合、第 59 回は室蘭工大が担当することになった。

● **議題 3 旅費支援事業の実施状況について (資料 3)**

➤ 旅費支援事業の実施状況について小野会計幹事から説明があり承認された。

◇ 昨年度は年度 34 万の予算に対し支援対象学会がオンライン開催であったため、支援実績が実績は 0 であったことが説明された。

◇ 今年度は予算 50 万 2000 円に対してすでに春期学術講演会 (青山学院大学) への旅費支援を行った。申請 2 件に対して 2 件を採択した。支援額は合計 28,100 円の支出を行った旨が説明された。

◇ SSDM は現地開催なので、支援の案内をそろそろ始める旨の説明があった。秋期応物はハイブリッド開催が予定されているので、予稿受付開始の時期に案内を行う予定であることが説明された。

◇ 以前は規約に存在した”支援は各個人に対して年に1回のみ”の制限は、昨年度時点で撤廃されていることが説明された。

◇ 昨年度に引き続き、交通費に対しての支援について議論された。持続可能性の観点から現状の通り宿泊費に対してのみ支援することが確認されたが、引き続きメール等でも議論していくことが説明された。

◇ コロナ前の支援状況に関しても情報共有され、個別の学会に対しては支援金額の上限がないことが説明されたが、今年度の SSDM の申請状況を受けて開催学会ごと支援金額の上限を設けるかどうか別途議論されることが説明された。

● **議題 4 来年度の予算申請について(資料なし)**

➤ 来年度の予算申請について植村支部長、篁人材育成幹事より説明があり承認された。

◇ 本部から将来基金、学術奨励基金の申請案内が来ており、申請期限は 4 月と 8 月に設けられていることが説明された。

◇ 10 月に開催される本部会議でリフレッシュ理科教室に関する予算策定が行われることが説明され、4 月申請、8 月申請の差はないであろうことが確認された。

◇ リフレッシュ理科教室の予算申請は 8 月に行うことが説明された。

◇ ジュニアセッション予算についても学術奨励基金へ申請する必要がある、植村支部長、篁幹事によって 4 月申請を行うことが説明された。

◇ 新規事業の 1 案としてジュニアセッションを九州支部と合同で行うという事業案が昨年度から検討されていることが説明された。

◇ 長期的には地域からの協賛金 (賛助会員など) を増やす必要があり、協賛金を拠出した企業に対するメリットについて議論された。学会の賛助会員の規約には機関誌

の配布、広告掲載料の割引、講演会時の展示会出展料の割引が記載されていることが説明された。

報告事項:

● **報告事項 1 令和 4 年度事業計画 (資料 4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-5)**

- 令和 4 年度事業計画について山根庶務幹事より報告があった。
  - ◇ 令和 3 年度 8 月に提出した事業計画書に沿って基本方針、特記事項、実施事項が説明された。
  - ◇ 今年度リフレッシュ理科教室は4会場での開催が予定されており、北見会場については独自の予算で運営されることが説明された。北大、旭川、北科大会場についてはそれぞれ学術奨励基金に予算申請していることが説明された。
  - ◇ 新たな試みとして、新ホームページをオンライン教材コンテンツ制作の場として活用するということが説明された。
  - ◇ 2021 年度のリフレッシュ理科教室実施実績について説明された。
  - ◇ 最近 3 年間のジュニアセッションコンテストの実施状況が説明された。
  - ◇ 本部の追加資料提出の要請に基づいて、今後のリフレッシュ理科教室の実施に関しては段階的に補助金額を減額し、2026 年度を目処に独力での運営を目指す旨の事業提案書を提出した旨が報告された。

● **報告事項 2 令和 4 年度予算報告 (資料 5)**

- 令和 4 年度予算について小野会計幹事より報告があった。
  - ◇ 学術講演会事業、リフレッシュ理科教室、支部学術講演会、おもしろ科学実験、学生旅費支援事業に関して予算報告があった。リフレッシュ理科教室について 3 月 18 日付けで教育企画事業から 5 万円の追加支援があったことが報告された。

● **報告事項 3 ホームページリニューアル事業について(資料 6)**

- ホームページリニューアル事業について山根庶務幹事より報告があった。
  - ◇ 昨年度までにサーバ非公開エリアに納品済みである。
  - ◇ リフレッシュ理科教室の動画コンテンツも公開を予定している。
  - ◇ リフレッシュ理科教室の申し込みページも制作する予定で、申し込みが始まる時期に新ホームページを公開する予定である。

以上